

学校運営協議会(部会)議事録

校名	府立 住之江支援 学校
(准)校長名	南 晃二

開催日時	令和2年2月17日(月)11:00～12:00
開催場所	府立住之江支援学校 1階 校長室
出席者(委員)	政野 委員、金岡 委員、山田 委員、林田 委員、松崎委員、林田委員
出席者(学校)	南校長、太田教頭、高田教頭、田中事務長
傍聴者	0 名
協議資料	平成31年度第3回学校運営協議会 学校経営計画及び自己評価の概要
備考	

議題等(次第順)
1 平成31年度評価案 ◎自己診断結果の結果と分析 ◎安心安全な学校づくり ◎センター的機能発揮 ◎教育力専門性向上 ◎キャリア教育・進路指導 2 令和2年度計画案
協議内容・承認事項等(意見の概要)
◎自己診断結果の結果と分析 自己評価アンケート回収率:保 75.8%(70%) 教 72%(81%) ・校長:「わからない」の選択肢を選んだ方が減少した分、全体的な肯定的評価につながっていると考えている。 進路指導の分野に関しては、「わからない」の増加が肯定的評価を下げている。小学部は「わからない」が多い。 ◎安心安全な学校づくり 校長:指示型から自主的判断型へ センター的機能発揮 長:地域支援に対するアンケートは口頭での評価は高い。居住地校交流については今年度初めて実施7名希望で3校実施できた。 岡委員:居住地校交流はすばらしい取り組みだ。 教育力専門性向上 村委員:アクティブラーニングは規律と授業崩壊の難しさがある。 校長:支援学校は中学校とは違う難しさがある。とくに対話的な学びについては。 ・山田委員:子どもの実態把握がしっかりできたのではない。ただ保護者アンケートとの齟齬が気になる。「わからない」を選んだ保護者への情報発信が必要。 ◎キャリア教育・進路指導 校長:シラバス作成は全校で取り組んだ。また、シラバス改善検証する組織を考えている。 ・山田委員:小学部の段階から職場見学をしてはどうか。回数を重ねることでイメージさせるとよいのではない。 ・竹村委員:中学校では職場体験は2日間実施

次回の会議日程	
日時	平成 月 日()00:00～
会場	